┌┌┌

＝＝＝

ない、改修予備軍の方々でも使用できるように、既存住宅の断熱仕様などについてわからない場合でも建設年代から推測して算出することができます。また、改修内容はお勧め改修ボタンを設けるなど、手軽に操作できるようにしています。事業者が使用する場合には、省エネ効果などを把握し、それをユーザーへの具体的な説明などに使用できます。
本プログラムを活用して、省エネ・エコ改修をススメて頂ければと思います。
今年度は、昨年度に引き続きこのプログラムや普及資料を使用して現地講習会などを予定しています。
なお、できるだけ使いやすいプログラムとするためにご意見を募集しています。
よろしくお願い致します。

「木造住宅の省エネ・エコ効果表示プログラム」　www.nrb.hro.or.jp/eco/

（居住科学Ｇ　廣田）

＝＝＝

■【北海道セミナー・シンポジウム
　　『住まいの「長期優良・省ＣＯ２化」を考える。』を開催しました】

平成２４年３月２３日（金）、東京都内の「すまい・るホール」（（独）住宅金融支援機構　本店）において、「北海道セミナー・シンポジウム」を開催しました。
午前は、北海道が中核となって国土交通省の「長期優良住宅先導事業」に共同提案し採択された３プロジェクト（北方型住宅ＥＣＯ、北海道Ｒ住宅、北方型外断熱住宅）に関する事例紹介などがありました。
午後は、京都大学の巽名誉教授から『「長期優良住宅先導事業」の成果と課題』と題して、住宅事業者の意識・レベル向上などの事業の成果と、今後の課題について講演がありました。
また午後の後半には、研究者や建築事業者をパネリストとしたシンポジウム「低炭素住宅の将来像」も行われ、今後の住まいのあり方について活発な議論が行われました。

（企画課　小澤）

※※※

◆４月１日付け新規採用
　石井　旭　（居住科学部居住科学Ｇ）
　中村拓郎　（環境科学部構法材料Ｇ）

◆４月１日付け所内の動き
　福島　明　（企画調整部長　→　副所長）
　江崎貴之　（企画調整部企画課企画Ｇ　→　総務部総務課）

※※※

（設計者の修正期間を除く実際の審査期間）の平均は１０．５日でした。

（構造判定Ｇ　十河）

※※※